

令和5年度 川崎市 英語教育改善プラン

目標

外国人とのコミュニケーションを積極的にとることのできる児童の育成

1. 現状

改善が進んだ点

①「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の活用

[設定]R3 67.5%→R4 95.6%
(R4全国 78.8%)

②ALTの効果的な活用

[パフォーマンステスト等の補助]
R3 87.7%→R4 94.7%
(R4全国 88.4%[5・6年])

③ICT機器の活用

[児童による、発話や発音などの録音・録画]
R3 49.1%→R4 61.4%
(R4全国 66.1%)

未だ改善が必要な点

①「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の活用

[公表]R3 17.5%→R4 32.5%
(R4全国 48.4%)
[把握]R3 47.4%→R4 64.0%
(R4全国 70.0%)

②新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合

R4 8.2%→R5 7.9%
(R7年度目標 50.0%)

2. 分析

①R3外国語科研究会議で作成した「CAN-DOリストモデル」を基に、各学校でのリスト作成を働き掛けた成果と捉えている。

②中核英語教員(CET)研修にALTを招き、授業内での活用等について実践を通して研修等を行った成果と捉えている。

③「かわさきGIGAスクール構想」に基づき、各校において1人1台端末を活用した授業改善が進んだ結果であるが、児童が自らの学習を振り返る活動は不十分と捉えている。

①設定率は向上したが、リストで示した目標を児童と共有し、その実現に向け指導と評価を一体化を図る授業がまだ十分に行われていないことが考えられる。

②全体の採用者数増に伴い割合は下がったが、一定の英語力を有する採用者数は増加している。教員採用試験の加点制度を更に周知する必要がある。

3. 施策・事業

①全小学校を対象とした「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の作成・更新の義務化
8月末までを目途に、全小学校を対象にCAN-DOリストの作成・更新を働きかけ、市への提出を義務づける。

②言語活動におけるALT活用促進

中核英語教員(CET)研修等において、ALTを活用しパフォーマンステストを受講者が体験する機会等を設け、言語活動を通じた適切な学習評価が行われるよう指導する。

③ICT機器を活用した言語活動の推進

英語教育推進リーダーが講師として行う研修等を通し、受講者が学習者用デジタル教科書や1人1台端末を活用した授業実践を体験的に学ぶ機会を設け、さらに効果的な言語活動に結び付けることができるよう指導する。

①「CAN-DOリスト」を活用した指導と評価の一体化を図る授業の推進

市で作成する実践事例集を基に、教育課程研究会等で授業の実例について示すとともに、学習指導案へのCAN-DOリストの関連項目の記載を促進し、各学校が目標の実現に向け指導と評価の一体化を図る授業ができるよう指導する。

②求められる英語力を有する教員確保の促進

教員採用試験において一定の英語力を有する者に対する加点制度を継続するとともに、教員志望者を対象に本制度の更なる周知を図り、求められる英語力を有する教員の確保につなげる。

令和5年度 川崎市 英語教育改善プラン

目標

外国人とのコミュニケーションを積極的にとることができる生徒の育成
R5 スピーキングテストとライティングテストの両方の実施率 100% [R4 85.9%(R4全国 90.1%)]

1. 現状

改善が進んだ点

①「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の活用
[設定]R3 98.1%→R4 100%
(R4全国 94.1%)
[公表]R3 51.9%→R4 76.9%
(R4全国 65.7%)

②ICT機器の活用
[生徒による、発話や発音などの録音・録画]
R3 73.1%→R4 80.8%
(R4 全国 78.4%)

未だ改善が必要な点

①「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の活用
[把握]R3 73.1%→R4 69.2%
(R4 全国 78.4%)

② ALTの効果的な活用
[パフォーマンステスト等の補助]
R3 100.0%→R4 94.2%
(R4全国 95.8%)

③パフォーマンステストの状況
[スピーキングテストとライティングテストの両方を実施]
R3 83.3%→R4 85.9%
(R4 全国 90.1%)

2. 分析

①各校にCAN-DOリストの作成と生徒と目標を共有する重要性について「中学校外国語教育指導力向上研修」「教育課程研究会」等を通して指導してきた成果と捉えている。

②「かわさきGIGAスクール構想」に基づき、目標の達成に向けた言語活動の中で、一人1台端末の活用が広がった成果ととらえている。

①作成・公表したCAN-DOリスト形式による学習到達目標と定期テストやパフォーマンステスト等に関連づけていく意識が十分でないことが考えられる。

②③「話すこと」「書くこと」を評価するパフォーマンステストでのALTの活用が十分になされておらず実際のコミュニケーションになっていないことがあることが考えられる。また、「話すこと」「書くこと」の評価方法についての理解が十分でないことが考えられる。

3. 施策・事業

①全中学校を対象とした「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の作成・更新の義務化
6月の第1回教育課程研究会までに、CAN-DOリストの作成・更新を働きかけ、市への提出を義務づける。

②ICT機器を活用した言語活動の推進
各種研修において言語活動を通じた指導の好事例を共有するとともに、初任者が英語教育推進リーダーによる模範授業を参観し、言語活動を通じた指導を学ぶ機会を設ける。目標の達成に向けたICT機器の活用などについて事例を共有し、言語活動がさらに充実していくよう支援していく。

①②③「CAN-DOリスト」を活用した指導と評価の一体化を図る授業の推進
各種研修においてCAN-DOリストに示された目標と関連付けた指導と評価の在り方について指導していく。特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」に関する資質・能力の育成について、実際に外国人とのコミュニケーションを積極的にとることができる生徒の育成のために、ALTを活用したパフォーマンステストの必要性を実践事例集などの事例を通して指導していく。

令和5年度 川崎市 英語教育改善プラン

目標

外国人とのコミュニケーションを積極的に行うことができる生徒の育成
R5 スピーキングテストとライティングテストの両方の実施率 80% [R4 66.8% (R4全国 48.6%)]

1. 現状

改善が進んだ点

未だ改善が必要な点

①「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の活用

[設定]R3 86.7%→R4 100%
(R4 全国93.5%)
[公表]R3 13.3%→R4 87.5%
(R4 全国64.0%)

②ALTの効果的な活用

[生徒とのやり取りの相手に参画]
※その他専門学科
R3 80.0%→R4 100%
(R4全国 94.3%)

これにより全学科で100%を達成。

③ICT機器の活用

[生徒による、発話や発音などの録音・録画]
R3 100%→R4 100%
(R4全国 69.6%)

①「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の活用

[把握]R3 13.3%→R4 62.5%
(R4全国 64.1%)

②パフォーマンステストの状況

[スピーキングテストとライティングテストの両方を実施] ※全学科
R3 50.0%→R4 68.8%
(R4全国 48.6%)

2. 分析

①各校にCAN-DOリストの作成と生徒と目標を共有する重要性について「高等学校外国語教育指導力向上研修」等を通して指導してきた成果ととらえている。

②「高等学校外国語指導力向上研修」等で言語活動を通じた指導の必要性について研修を行った。目的・場面・状況設定のある言語活動の実施のためにALTの活用が広がった成果と考える。

③「かわさきGIGAスクール構想」に基づき、目標の達成に向けた言語活動の中で、一人1台端末の活用が広がった成果ととらえている。

①②作成・公表したCAN-DOリスト形式による学習到達目標と定期テストやパフォーマンステスト等を関連づけていく意識や、「話すこと」「書くこと」についての評価方法の理解が十分でないことが考えられる。

3. 施策・事業

①全高等学校を対象とした「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の作成・更新の義務化

8月の第1回高等学校各教科等研究協議会までCAN-DOリストの作成・更新を働きかけ、市への提出を義務づける。

②③言語活動におけるALTやICT機器の活用促進

高等学校各教科等研究協議会において授業実践の情報交換、研究授業、協議等を行う。目的・場面・状況設定のある言語活動実施のためのALT活用と、授業が実際のコミュニケーションの場面になるように指導する。また目標に向かう単元の指導過程における効果的なICT機器の活用について引き続き指導していく。

①②「CAN-DOリスト」を活用した指導と評価の一体化を図る授業の推進

各種研修においてCAN-DOリストに示された目標と関連付けた指導と評価の在り方について伝達し、指導と評価の一体化について指導していく。特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」に関する資質・能力の育成に関して、実際に外国人とのコミュニケーションを積極的に行うことができる生徒の育成のために、パフォーマンステストの必要性を伝達していく。